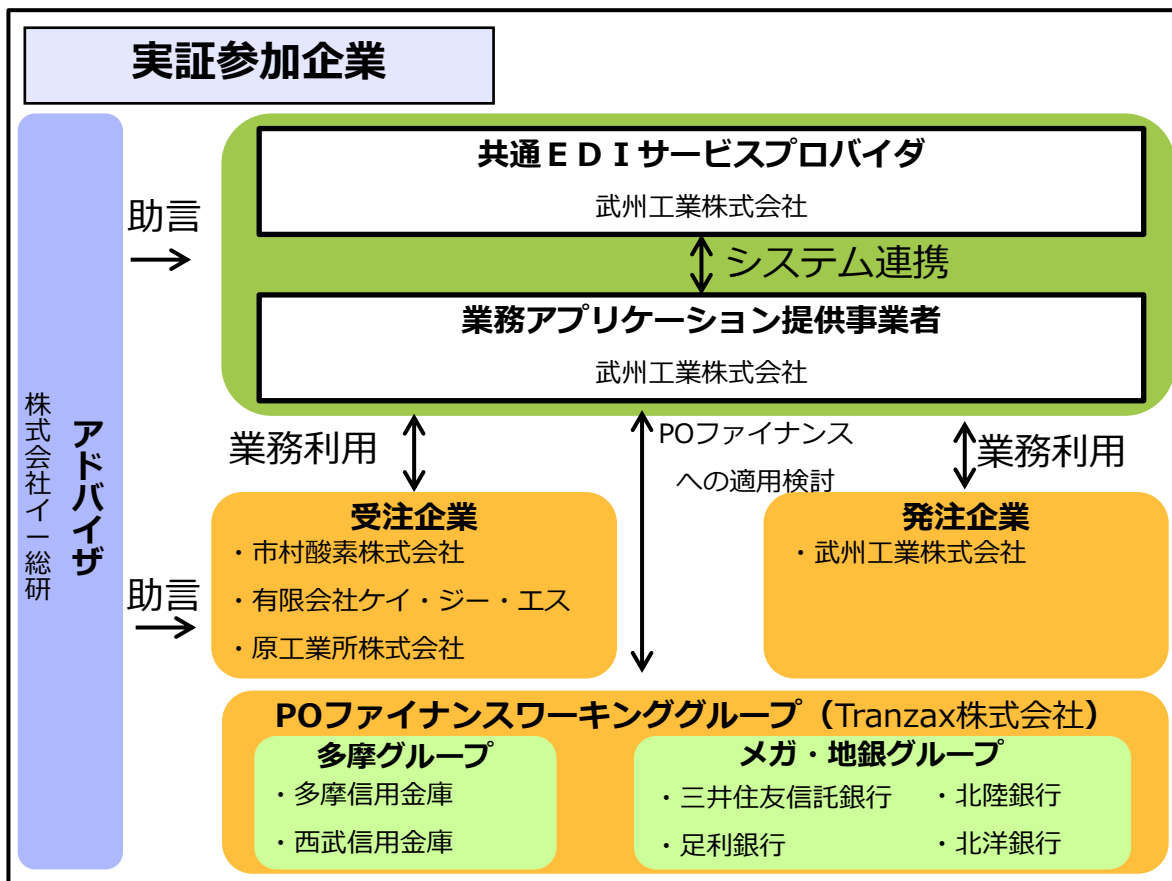


10.多摩地域活性化のためのビジネス情報共通EDI連携

～ 実証検証の概要 ～ (管理法人：武州工業株式会社)

- 多摩地域の中小企業を受発注を対象とした実証事業
- 受発注データを起点と終点に据え、実際の生産に係る情報を一元的に扱い、中小企業で扱われるすべての情報をデジタル化し、トレーサビリティや分析に利用
- 金融機関と連携し、受注時点での融資を実現する仕組みを検討



本事業の成果見込

- ・現在、FAXやWeb-EDI、フリーフォーマットの電子メールなどで扱われている受発注、出荷検収情報交換を電子化し、さらにそれらの情報を「生産」情報の起点と終点にすることで受発注や出荷検収、生産実績、トレーサビリティといった情報を一元的に管理し、各種分析に利用できるようにする
- ・受注時点での融資する仕組みを検討し、中小企業のキャッシュフローの改善を図る

事業終了後の普及計画

本システムと連携できるIoTソリューション外販などと併せシステムを外販し、2022年までに中小企業を中心として累計販売数200社への導入を目指す。

機械動作情報収集のためのIoT装置



10.多摩地域活性化のためのビジネス情報共通EDI連携

～ 実証検証全体図 ～ （管理法人：武州工業株式会社）

製造業にとって受発注、出荷、検収に関するEDI連携は100ある生産管理業務の内の個々の1つにすぎません。そこで、受注を生産の起点、出荷・検収を生産の終点と捉え、「生産」と「取引」を関連付けることで「100ある業務全てのデジタル化」を目指します。蓄積された生産デジタル情報の分析から、様々な「気づき」を現場にもフィードバックすることで、有効で継続的な改善を促していきます。

また、その情報の一部を金融機関に提供することで、信頼性の高い企業の「状態」を金融機関が知ることにより、受注情報を融資の有効な検討材料とすることの可能性について検討を行います。

実証検証全体図

